

会 議 の 概 要

会議名	令和 6 年度(2024 年度) 第 1 回宝塚市観光振興会議	
開催日時	令和 6 年(2024 年)7 月 30 日(火) 10 時 00 分から 12 時 00 分	
開催場所	宝塚市役所 3B・3C 会議室	
出席者	委員	吉兼会長、和田副会長、土井委員、横山委員、布村委員
	事務局	産業文化部長、観光文化振興担当次長、観光にぎわい課長、 観光にぎわい課係長 2 名、観光にぎわい課職員 1 名
公開の可否	可	
傍聴者	0 名	
議題及び結果の概要		
1 開会		
(1) 会議の成立		
(宝塚市観光振興会議規則第 6 条第 2 項の規定により、成立)		
(出席委員 5 名)		
(2) 会長挨拶		
委員) 皆様本日はよくお集まりいただいた。建設的な議論をしてまいりたい。よろしく願います。		
(3) 傍聴について		
事務局より宝塚市観光振興会議傍聴要領の説明を行う。		
傍聴者の有無、確認：傍聴希望者なし		
(4) 議事録について		
事務局より議事録に関する説明を行う。		
2 議題		
議題 1 観光客動向実態調査等報告		
事務局から観光客動向実態調査等報告を行い、その後質疑を行う。		
委員) 「施設見学・その他」の数値には宝塚北 S Aが含まれているのか。		
事務局) 含まれている。		
非常にきれいなトイレで話題になり、トイレがきれいな施設にお客様が多く来られる。		
委員) ゴルフ場の観光客数は増えているわけではないが、ゴルフをする人やゴル		

フ場に来た人がまた市内の他の場所に行ってもらえる可能性がある。

委員) 宿泊施設は少ないけれども、宿泊者数も若干増えていると思うが、宿泊者数が増えた要因は何か。

事務局) 昨年からの違いでいえば、宝塚歌劇の休演が考えられる。宿泊施設だけでなく、周辺の飲食店も歌劇の休演によって売り上げが落ちる。

委員) 外国人観光客が増えているが、一番多く訪れている施設はどこか。

事務局) 手塚治虫記念館が一番多い。9,117 人のうち 4,000 人程度が手塚治虫記念館来場者である。宝塚ホテルやワシントンホテルのような手ごろに泊まれるホテルも人気がある。

委員) インバウンドに興味を持ってもらうために、手塚治虫記念館を活用した仕掛けを考える等、大阪と神戸の通過点にならないように工夫する必要がある。

事務局) 宝塚市に泊まる特別感を与えられるようにしたい。委員からはホテルの部屋名を番号ではなく、トップスターの名前をあしらってはどうかと提案いただいた。

事務局) インバウンドの宿泊者は確かに少ない。ただし、宝塚ホテルの宿泊者は歌劇のお客さんで埋まっているため、インバウンドが予約を取りづらい。

ホテル若水は海外向けのサイトで温泉がある宿ということで、1 週間ほどの長期で予約され、ホテル若水を起点にして京都に行っているという話は聞いている。目的があって宝塚市に来ているというよりは、ホテルに泊まりに来ている。

ホテル若水であればウィルキンソンの設立者のジョンクリフォードという部屋を用意したり、インバウンドを意識している。紅葉館 別庭あざれも部屋数は少ないが、インバウンドが泊まりに来ている。

多くのインバウンドは、大阪のホテルを拠点に手塚治虫記念館や寺社に訪れていると思われる。

委員) 1 つのホテルは満員なのに他のホテルは空いているという状況はもったいないため、ホテルの空き情報を市全体で共有したほうが良い。

城泊のように閉館後の手塚治虫記念館に手塚治虫の部屋を作って 1~2 人程度泊まれるようにすれば、ファンに喜んでもらえると思う。

議題 2 令和 6 年度（2024 年度）の実施済事業及び実施予定事業について

事務局から令和 6 年度の実施済事業及び実施予定事業の説明を行い、その後質疑を行う。

委員) 観光噴水は市の所有物になるのか。

事務局) 市の所有物となり、修繕や撤去は市のお金で行わなければならない。修

繕するにも撤去するにも数千万円かかる。

委員) 鴨川の川床のように夏の間だけ橋を渡して川の中島のようにしてテラスのようにするのも考えられる。

利用方法についていろいろなアイデアを募るのもおもしろいかもしれない。

委員) 宝塚市観光大使リボンの騎士『サファイア』の任期は1年なのか。

事務局) 1年である。サファイアが2人いるが、市側と2人、双方の合意があれば、最大2年間就任できる。

委員) 観光PR動画はYouTubeで見られるのか。QRコードで見られるようにすることはできるのか。

事務局) YouTubeでみることができ、QRコードも作ることができる。

委員) 発信する情報はまず市民に伝えて、市民に宣伝してもらえるように広報誌等でQRコードを掲載し、市民に見てもらうことが重要である。

YouTubeで宝塚を検索すると次々に検索結果が出てくる。行政でもそれを集めて、上手に利用し、さらに新しい動画を付け加えていく。

委員) 廃線敷に何回か行っており、ゴールデンウィークにも行ったが、意外と人がいなかったけれども外国人が多かった。

事務局) 廃線敷は宝塚市と西宮市にまたがっており、宝塚市側はお店もあるが、西宮市側は住宅地を抜けていくため観光スポットらしさはない。

委員) 歌劇の貸切公演のチケットはふるさと納税に入っているのか。

事務局) ふるさと納税では販売しておらず、申し込み期間を設けて、抽選している。

委員) タンサンフェスのギネス挑戦はどのような状況か。

事務局) 中国の2,020人の記録を抜くために人集めを頑張っている。

委員) 3年計画であるJRと協力したデスティネーションキャンペーンを行っており、JR西日本が運用する3つの観光型MaaSを活用したプロモーションを実施しているところ。ウィルキンソン タンサンが宝塚市発祥であることを知っている人は少ないと思うため、タンサンフェスは面白いイベントだと思う。これらアプリで配信したりチケットの販売が可能か相談したい。

事務局) ぜひお願いしたい。

委員) インバウンド誘客事業によって、外国人観光客が増えて、その内約半数が手塚治虫記念館というのは非常に面白いデータだと思う。

手塚治虫記念館の来場者の外国人はどここの地域の人が多いのか。

事務局) 手塚治虫記念館のチケット窓口で統計を取っており、欧米やアジアなら台湾が多い。

委員) 兵庫県でもインバウンドに宿泊地に選ばれていないという課題があるた

め、今年はOTA予算をとっており、宿泊につなげるプロモーションを行っていく。宝塚市がどこの国に人気があるのかがわかれば、徹底したプロモーションを行うことができる。そのため、引き続きひょうご観光本部としては、連携していきたいと考える。

委員) インバウンド誘客事業では、関西国際空港と京都タワーにチラシを設置しているが、道頓堀には設置していないのか。

事務局) 道頓堀は昨年度設置していたが、今年度は費用面や空港は到着してすぐに行く場所のため、関西国際空港と京都タワーに絞っている。

委員) インバウンド誘客事業を継続する予定はあるのか。

事務局) 継続したいと考えているが、設置する場所が各自治体で取り合いになるため、継続できるかは不明である。

委員) JTB が今年の7月から難波に観光案内所を設置していると聞いているが、大阪・関西万博を狙って来年度枠がすでに埋まってきているが、何か話はしているのか。

事務局) 検討中である。大阪・関西万博の広報については、宝塚市国際観光協会と協議して、難波の話を含めてできることはやっていきたいと考えている。

また、万博とは異なるが、京都の国際マンガミュージアムにチラシを設置してもらったり、宝塚市に国際マンガミュージアムのチラシを設置したり連携している。効果的にチラシを手にとってもらえる方法を探している。

委員) タンサンフェスだけでは、ウィルキンソンが宝塚市発祥だとはわからない。皆さんの努力も必要だが、市長がどこかへ出張に行ったときに「宝塚のウィルキンソン」とPRする必要がある。

事務局) 設立者のウィルキンソン氏の誕生日が7月15日ということで、今年の7月15日にウィルキンソンの日制定セレモニーを行い、アサヒ飲料㈱の代表取締役社長もお越しになられた。宝塚駅前でウィルキンソンの無料サンプリングの配布等を行った。

また、明治時代に宝塚市にあったタンサンホテルや紅葉谷工場を復元したジオラマをアサヒ飲料㈱が作成した。ジオラマは市内を巡回展示しており、今は東公民館にある。

さらに、7月15日にアサヒ飲料㈱と市と宝塚市国際観光協会の3者で「ウィルキンソンタンサンを通じたにぎわい創出のための連携協力に関する協定」を結んだ。

委員) アサヒ飲料㈱は以前自分たちの自動販売機にWi-Fiを取り付けて、人があまり買いたがらないトイレの外やきれいではない所に設置し、Wi-Fiにより人を集める戦略をとっていた。

事務局) 5,6 年前にアサヒ飲料㈱にウィルキンソンのラベルに宝塚市発祥と入れてほしいと頼んだ時は、断られた。今であれば、観光に特化した協定を結び、ウィルキンソンラッピングの自動販売機に宝塚市発祥と入れてあったり、アサヒ飲料㈱のホームページにも宝塚発祥と掲載してもらっている。市にとってのプロモーションになっているのは確かなため、引き続きお願いしていく。

委員) アサヒ飲料に企業版ふるさと納税はしてもらっているのか。

事務局) 市内に工場がある等の関わりがあることが条件なためできていない。部署が異なるが、普通のふるさと納税の返礼品にする動きはある。

議題 3 現戦略の取組方針について

事務局から現戦略の進捗状況の報告を行い、その後質疑を行う。

委員) ダリア関連が 2 つあるが、「宝塚 ダリア花の環プロジェクト」をコストパフォーマンス的にやめて、「ダリア園 行灯のタベ」に力を入れていくのか。

事務局) それぞれ事業者は異なり、「宝塚 ダリア花の環プロジェクト」は南部地域から北部地域のダリア園に誘導できるようにしたいという思いから開始したが、他にも事業をしており、資金面から事業が回っていない。

委員) 前期 KPI は最終目標を達成しているため、目標数値をもう少し欲張ってもよいではないか。

事務局) 今年が市制 70 周年ということで市民が新たなイベントを打ち出している。また、兵庫県とは武庫川河川敷の活用の取り組みを進め、色々なイベントが生まれている。

事務局) 次回以降の会議で観光振興戦略の後期アクションプランについて協議していくことになるため、現在の状況に合わせて目標数値を変更していく。

委員) 今資料に掲載されている事業者と掲載されていない事業者の違いが分かるように示してほしい。

委員) 1 年 1 回でも事業者を集めて議論して、連携につなげるようにすることが大切なのではないかと思う。

金融業や不動産業と観光業をどうつなげられるかが持続可能な事業には重要である。まちづくりという観点からボランティアになりがちであるが、長続きしない。地域の中で経済的に回るように金融業の人から知識やノウハウを教えてもらう。

委員) ダリア園については、花の咲き終わり前に花を切って、その花を寺社や商店街等に奉納して花手水のように水に浮かべて、宝塚市のダリア園からいただきましたと表示してもらい宣伝にもなるような西谷地域と南部地域で循環で

きるようにしてはどうか。

委員) 戦略の目標はアウトプットのような目標になっているため、アウトカムにつながる目標を皆で議論しあう必要がある。

委員) 観光コンテンツは9個あるが、これは入れ替わりがあるものなのか。

事務局) 補助金制度の中で行った9個としている。

今年度は実施していないが、国の交付金により過去3年間コンサルタントを入れて、募集を行い、観光商品を作り、応援資金として最大50万円の支援を行って持続可能なイベントを実施してもらった。もっとコンテンツが増えていけばよいと考えているため、今年はコンサルタントを入れていないが、次年度以降また昨年度以前のような支援をしていくのかは考えていく。

コンサルタントを入れ、ワークショップを行うことで、事業者間のマッチングはでき、それ以降のフォローアップもしてもらっていた。

委員) 空飛ぶランタンの後ろに立っている建物はなにか。

事務局) 宝塚ホテル。

委員) 今のままでもきれいだが、周りの電気が消えていけばもっときれいになる。協力してもらうのが難しいが、1分間程度電気を消してもらい、ホテルのお客さんも参加してもらえば全然違うと思う。

事務局) 昨年行った際に実行委員会に宝塚ホテルの人もおり、暗転は難しいということで、暗転せずに行ったが、最初だけでも消したほうがよかったとも言っていたため、今年度は検討する。

委員) 去年、奈良県生駒市で近鉄がランタンを実施した。長時間暗いと転倒や事故、事件の危険性もあり、5分間に限って、電気を消したが、暗転させるとインパクトが違った。

(1) その他

各委員から所属団体の取り組み等について共有

委員) 大阪・関西万博に向けたプロモーションを行っていく。大阪・関西万博プラスワンとして、近隣他府県も競い合うように、誘客に力を入れている。

万博の時に宝塚市にも寄ってみようかとなり、その後も選択肢に挙がってくるような県・市と一緒に目指していければと考えている。

委員) 会場だけが万博ではなく、それぞれの地域が1つのパビリオンという形で、関西全体がたくさんのパビリオンとなってそこに訪れてほしい。それをきっかけに普段から訪れるようになってほしい。

委員) 宝塚市の花のみちにぎわい創出事業をプロポーザルで採択を受けて5つの事業を実施する。

その1つが宝塚市が行う花のみちでダリアのブーケを1,000個並べてギネスに挑戦するイベントに関連させ、ギネスに参加する方や歌劇を鑑賞した方を対象として周辺を回ってもらうスタンプラリーを実施する。賞品として、ウィルキンソン タンサンやエビスシマダのサコッシュ等を用意している。

9月には豊岡演劇祭に合わせた物産展、10月には空飛ぶランタンに合わせて、ソリオや花のみちにキャンドルを設置する。宝塚市出身のイラストレーター中村佑介さんの企画展を文化芸術センターで来年4月から開催するため、その告知を兼ねてスタンプラリーを実施する。

商工会議所の中には観光文化部会があり、来月に外国人観光客が多く訪れる池田市のカップヌードルミュージアムに見学に行き、インバウンドが宝塚市で体験できるような施設を作れないか検討する。

委員) 花のみちは環境として心地よい。花のみちに行くこと自体が目的とすることができる。

歌劇のファンは京都の着物レンタルのような貸衣装屋でコスプレしたがるということはないのか。コスプレしてもらった場合、花のみちの先の手塚治虫記念館にどうつなげるかが課題になってくる。

池田市の話も聞いたことがあるが、カップヌードルミュージアムには人が来られるけれども、他は回らずそのまま帰ってしまう人が多い。

委員) 阪神北県民局が事務局をしている阪神北地域ツーリズム振興協議会では、大阪駅周辺のディアモール大阪で阪神北地域の観光物産展を昨年度に引き続き実施する。コンペにより事業者が決まったので、また市と連携して進めていきたい。

万博に来られる方を阪神北地域へ呼び込むため、SNSを活用して阪神北地域のフィールドパビリオンを発信していく。プロポーザルで事業者が決まったので、事業者が各地域取材して記事にしたものをSNSやHPなどで発信していく予定である。

また、今年度、ドライブマップの改訂版を作成する予定である。

委員) AIを活用した観光は考えているか。

委員) 他府県では、多言語化の案内をAIで行ったりしているが、兵庫県では今のところ行っていない。

委員) 写真や似顔絵を動かすようなアプリもある。観光の世界はアナログが中心であるが、AIのようなデジタル利用も検討してほしい。

委員) 宝塚市にはギネスが多い。ギネスに興味があるという人も多いため、JR等でもギネスを前面に出してPRしていてもよい。

単年度で終わるのでなく過去のギネスの記録をチラシ等でPRしてもよいのではないか。

委員) 行政は担当者が3年程度で変わってしまうため、情報を継承できるようにしておいてほしい。

また、市は市域を超えた範囲や県道には手が出せないため、他市や県と連携できるように癖づけておいてほしい。今はオーバーツーリズムのため、他の町にも行ってまた帰ってきてもらうということも大事だと思う。

混雑状況をリアルタイムで表示したり、渋滞回避のために路上駐車を取り締まりや制限速度を調整して一般人と観光客が一体化しないようにすれば、オーバーツーリズムを解消できる。

観光客が来てくれることに感謝する住人が多くなれば、観光局にもそれが伝わりマナーがよくなる。イスラム教のサラートのようにお互いの文化を理解することも大事だと思う。

事務局) ギネスのPRは難しい部分があり、「ギネス」という言葉を使うのに制限がある。

宝塚市は自前で自由に使えるコンテンツが少なく難しいと感じている。

色々な意見をいただきまして、ご協力いただける部分についてはよろしくお願いいたします。

(2) 次回開催日程について

1月頃を予定しており、事務局より日程調整を行う旨、事務局より説明

3 閉会